

# THE SHOIN TIMES

“100 poems by 100 poets” - Tuesday, February 12, 2019

## 百人一首大会

### 中学生と高校生 2名ずつ予選通過

毎年恒例、百人一首大会が1月29日(予選)と30日(決勝)に行われました。初日の予選は5人程のグループに別れ、和やかな雰囲気の中で行われました。グループ首位の保田さん(1春)、和田さん(2李)、原口さん(3桜)、宮脇さん(1星)が勝ち進み、2日目の準決勝、3位決定戦、決勝戦に挑みました。準決勝からは袴を装い、競技かるたのルール通り、1対1で行われま

した。緊張感の高まった雰囲気、応援している方々も固唾を飲んで見守ります。4人ともレベルが高く、互いに譲らない思いが伝わる素晴らしい戦いでした。札の読み手は、中学2年生の緒方さんと新伝さんが務め、素晴らしい雰囲気を作り上げてくれました。今回は、優勝した和田さんと準優勝の保田さんにコメントをいただきました。



### 優勝は和田悠由香さん(2李)

今回、2度目の出場で優勝することができ、とても嬉しく思っています。同時に、もっと練習して強くなりたい、来年も優勝したいという気持ちもあります。

私は、1年生のときに百人一首大会があると知った日から、友達とたくさん練習しました。しかし、去年は優勝決定戦には届きませんでした。そのとき、一緒に泣いてくれる友達がいまいた。だから、「今年は優勝する！」と

いう気持ちで、すこく練習して挑戦しました。今回の優勝は、友達と頑張つて、頑張つて取ったものです。私の百人一首大会はまだ2回目、されど2回目。中学3年間で、百人一首大会に出場できるのはあと1回だけ。来年の優勝のために、百人一首と向き合つて練習できるのもあと1年だけなので、もっとレベルを上げて、礼節を大切にすることを忘れず、去年や今年よりもいい試合がしたいです。



### 準優勝は保田麻衣さん(1春)

私が百人一首を覚え始めたのは小学校のときの担任の先生の影響です。小学校のときは五色百人一首、中学に上がってからは散らし取りをしていました。中学で文芸部に入り、百人一首の強い先輩たちに憧れて、100首暗記を目指すようになりました。

私は第77番歌の「瀬を早み岩にせかるる滝川のわれても末に逢はむとぞ思う」という歌が好きです。この歌

は、大切な人との再会を願う歌です。もともとS音から始まる歌が得意で、意味も知り、より好きになりました。

今回の百人一首大会で初めて競技かるたをしましたが、決勝の4人に残り、袴を着て百人一首をすることができて本当に嬉しく思います。優勝決定戦では負けてしまいましたが、心に残る試合になりました。来年は優勝目指して頑張りたいです。



学校法人 樟蔭学園

樟蔭中学校・高等学校